

第31回「議員と語りかい」報告書

産業建設常任委員会 (No.1)

開催日	令和元年 8月 7日 (水) 午後2時 ~ 5時		
開催場所	竹子土地改良区		
団体名	霧島市土地改良区連絡会	参加人員	9人 (男 7人:女 2人)
出席議員	池田 綱雄、厚地 覺、松枝 正浩、愛甲 信雄、木野田 誠、 有村 隆志、植山 利博、蔵原 勇		
役割分担	班 長 (池田 綱雄) 副班長 (厚地 覺) 記録係 (有村 隆志)		
テーマ及び具 体的な内容	・竹子土地改良区の土地改良施設の現地調査 その他の土地改良区との意見交換		

意見交換での 主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>竹子土地改良区の施設を現地調査</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>揚水機場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ファームポンド</p> </div> </div> <p>◆竹子土地改良区の畑かん施設は、水不足問題から改修と更新ができず困っている。改良区では、耕作農家戸数の減少により耕作放棄地も増えている。果樹とお茶は後継者が育っているが、牛肉生産者・野菜農家は後継者不足のようだ。専業農家を育成し戸数増による負担増を進めるが、施設改修等に農家へ新たな負担増は難しい。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇第3の井戸・ポンド（タンク）等の整備計画はどのような状況であるか。

◆お茶の防霜時期に、水不足による被害が問題となり市・県とポンプ容量を増やす為に井戸を掘る対策を協議したが、整備は後回しになった。最近お茶の事業で施設整備（水量調整）を入れた結果、防霜には3日は水が持つようになった。しかし、今後において昼間の使用増により貯水不足が予想されるので申請をしたところ、貯水を3日以上確保するための補助事業はないとの回答であった。今後のこともあるため、市や県・国に再度要望したい。

◇新規就農はどうか。

◆新規就農の希望者から竹子改良区に空き家探しの依頼がある。空き家対策を竹子共生会で考えているが解決策がない。

意見交換での主な意見等

◇農家の減少や改良区の解散等があるが、土地改良区の今後についてどう思うか。

◆運営面での維持管理は、賦課金だけでは運営できなく多面的機能や負担金等でやっとなできている。今後、賦課金は地権者の高齢化や非耕作地もあり、徴収が難しくなるので市や県と協議したい。

全国土改連は、今後5年間で土地改良区の数半減するように決定している。本市でも土地改良区の解散の話があるが、市や改良区からは合併の話もなく協議すらされていない。他地域では、鹿屋、始良市で合併の話を進めていると聞いている。霧島市でも全体的な統廃合を進めるべきと考える。

また、最高裁判決で維持管理は市と土地改良区と協議し機能的な管理を求めている。雨水排水対策から、用水路も排水路として利用しているので市の支援を期待する。

その他要望事項

◆十三塚原土地改良区では、大きな排水路の譲渡を受けている、本来は行政で管理すべきだ。大雨の時、市道の水も入るので支援して欲しい。

◆松永用水路のゴミが多くて困っている。

- ◆宮内原土地改良区要望
- ①用水路のごみの状況を広報誌で周知して欲しい
 - ②用水路沿いの巡回
 - ③用水路沿いの市管理の公園等へのごみ箱の設置回収
 - ④動物の死体処理の担当職員の立ち合い
 - ⑤集中豪雨時の用水路のごみの撤去、砂防ダム管理